

# 令和5年 第22回 川口市教育委員会定例会

日 時 令和5年12月21日(木)  
午後1時30分  
場 所 川口市教育委員会室

## 日 程

### 1 開 会

### 2 点 呼

### 3 前回会議録の承認

- (1) 第21回川口市教育委員会定例会会議録

### 4 教育長報告

- (1) 1月行事予定について — 1  
(2) 保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会の概要について —別添1  
(3) 未来創造・教育力向上特別委員会の概要について —別添2  
(4) 令和6年度埼玉県公立小中学校等校長・教頭候補者選考の結果について — 5

### 5 協議事項

- (1) 令和6年度教育費当初予算要求額について —当日1(秘)

### 6 議 事

- 議案第116号 職員の人事について —当日2(秘)  
議案第117号 専決処分の承認について(職員の人事について) —当日3(秘)  
議案第118号 学校給食費の改定について — 6

### 7 その他

- (1) 第41回川口マラソンの結果について — 7  
(2) 令和5年度川口市体育三賞選考結果について — 12

### 8 閉 会

教育長報告（1）

令和6年 1月 行事予定表

日曜日	教育総務課	生涯学習課	文化財課	中央図書館	科学館	スポーツ課	日曜日
1月		年始休暇(～4日) (各公民館・中央ふれあい館・生涯学習プラザ・南平文化会館)	年始休館(～3日) (文化財センター各施設)	年末年始休館(～1月4日) (中央図書館・メディアセブン・各地域図書館・分室・各文庫)	年始休館(～3日)	年始休所	1月
2火						年始休所	2火
3水						年始休所	3水
4木	仕事始め					開所(青木町公園総合運動場・体育武道センター・戸塚スポーツセンター)	4木
5金				おさなごのおはなし会 (11:00 前川図書館)		開所(東・西・新郷・芝・安行・鳩ヶ谷スポーツセンター)	5金
6土	新春交礼会 (10:30 川口総合文化センター・リア)	市民大学「自然科学とIT」 (オンライン)(～27日)		おはなし会 (14:30 全館)			6土
7日						プール開始(東・西・新郷・安行・戸塚スポーツセンター)	7日
8月	成人の日	令和6年川口市はたちの集い 記念品引換(11:00 川口西公園) 式典(12:30 川口総合文化センター・リア)					8月
9火							9火
10水					来館(坂戸市立坂戸・東松山市立高坂小学校)		10水
11木			オンライン歴史教室(木曾呂小学校) (13:40 郷土資料館)	親子で楽しむ絵本とわらべうた (10:30 戸塚図書館) おはなしじゅうたん(10:30 鳩ヶ谷図書館)	来館(青木錦生幼稚園、上尾市立鴨川小学校)		11木
12金	中核市教育長会第2回総会等 (13:10 都市センターホテル)		歴史教室出前授業 (9:35 芝西小学校)	絵本とわらべうたの会 (10:30 新郷図書館) おはなし会(11:00 芝北文庫)	来館(ふじみ野市立さぎの森・所沢市立北秋津小学校)		12金
13土				おはなし会 (14:30 全館)	特別イベント「不思議な立体を作る?! 杉原先生の紙工作教室」(10:30 展示) 夜間観測会(18:00 天文台)		13土
14日							14日
15月	第6回南部教育長会議・教育長協議会 (14:00 県浦和合同庁舎)						15月

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化財課	中央図書館	科学館	スポーツ課	日	曜日
16	火		市民大学「終活と生前整理講座」 (オンライン)(~2月15日)	校外学習(木曾呂小学校) (10:00 郷土資料館)	図書特別整理期間(休館)(~1月19日)(鳩ヶ谷図書館) 川口の元気夢わーく体験事業<北中>(~1月18日)(中央図書館) わらべうたとえほんの会(11:00 中央図書館)	来館(里・幸町・川越市立新宿小学校)		16	火
17	水				わらべうたであそぼう (11:00 横曽根図書館)	来館(狭山市立御狩場・ 飯能市立美杉台小学校)	第4回スポーツ施設長会議 (14:00 鳩ヶ谷スポーツセンター)	17	水
18	木	教育委員会定例会 (15:30 教育委員会室)		歴史教室出前授業 (10:45 飯仲小学校)		来館(しば幼稚園、狭山市立山王小学校)		18	木
19	金	埼玉県都市教育長協議会 第4回定例協議会 (10:00 さいたま市民会館おおみや)		校外学習(木曾呂小学校) (10:00 郷土資料館)	おさなごのおはなし会 (11:00 前川図書館)	来館(新郷・鳩ヶ谷・所沢市立上新井小学校)		19	金
20	土				おはなし会 (14:30 全館)	後期サイエンスクラブ 「ようこそ！錯覚ワールドへ」第1回 (14:30 展示)		20	土
21	日						川口市スポーツ推進委員視察研修会 (藤沢市他)	21	日
22	月							22	月
23	火			歴史教室出前授業 (9:35 前川東小学校)	川口の元気夢わーく体験事業<領家中> (~1月25日)(中央図書館)	来館(元郷南・舟戸・野田市立中央小学校)		23	火
24	水			オンライン歴史教室(市内小学校) (10:40 郷土資料館)		来館(狭山市立入間川・狭山市立南小学校)		24	水
25	木		市民大学「食と健康講座」① (10:00 横曽根公民館)		親子で楽しむ絵本とわらべうた (10:30 戸塚図書館) おはなしじゅうたん(10:30 鳩ヶ谷図書館)	来館(清泉幼稚園、川越市立芳野小学校)		25	木
26	金			オンライン歴史教室(市内小学校) (10:40 郷土資料館)	絵本とわらべうたの会 (10:30 新郷図書館) おはなし会(11:00 芝北文庫)	来館(芝西中学校陽春分校、川越市立中央・ 星野学園・狭山市立入間野小学校)	体育三賞授与式 (18:30 川口総合文化センター・リア)	26	金
27	土				おはなし会 (14:30 全館)	後期サイエンスクラブ「ようこそ！錯覚ワールドへ」 第2回(14:30 展示) 夜間観測会(18:00 天文台)		27	土
28	日					科学出張教室 (10:30 安行藤八ふれあい教室)		28	日
29	月							29	月
30	火			オンライン歴史教室(市内小学校) (10:40 郷土資料館)	図書特別整理期間(休館)(~2月2日)(新郷図書館) 川口の元気夢わーく体験事業<南中> (~2月1日)(中央図書館)	休館日(館内整理日)		30	火
31	水			歴史教室出前授業 (9:45 仲町小学校)		来館(ときがわ町立萩ヶ丘・ 柏市立柏第七小学校)		31	水

令和6年

1月

行事予定表

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
1	月						1	月
2	火						2	火
3	水						3	水
4	木						4	木
5	金					全日制第3回学校見学会 (13:00 市立高等学校)	5	金
6	土						6	土
7	日						7	日
8	月						8	月
9	火	川口市奨学資金貸付申請受付(～19日) (分庁舎庶務課)	3学期始業式	適応指導教室開始日 (10:00 教育研究所)		全日制始業式(9:40 市立高等学校) 定時制始業式(18:00 市立高等学校)	9	火
10	水			第3回就学支援委員会 (13:00 教育研究所)	3学期給食開始 学校給食献立委員会(元郷学校給食センター調理小学校)(15:30 元郷学校給食センター) 学校給食献立委員会(新郷・南平学校給食センター調理小学校)(15:30 第二庁舎)		10	水
11	木				学校給食献立委員会(元郷学校給食センター調理中学校)(15:30 元郷学校給食センター) 学校給食献立委員会(新郷・南平学校給食センター、自校調理中学校) (15:30 第二庁舎)		11	木
12	金		第7回市立学校長会議 (9:30 市立高等学校)		学校給食献立委員会(自校調理小学校) (15:30 第二庁舎)		12	金
13	土			附属中学校入学者第一次選考 (8:30 附属中学校)			13	土
14	日		川口市ペーパーティーチャー相談会 (10:00 教育研究所)				14	日
15	月		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:30 教育委員会室)				15	月

日	曜日	庶務課	学務課	指導課	学校保健課	市立高等学校	日	曜日
16	火		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:30 教育委員会室)		川口市健康教育大会 (13:30 川口総合文化センター・リア)		16	火
17	水		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:30 教育委員会室)	委嘱研究発表(岸川中学校) 日本語指導教室開始日(～2月14)(9:30 教育研究所) 適応指導教室チャレンジサイエンス(10:00 科学館)			17	水
18	木		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (9:15 教育委員会室)	附属中学校第一次選考結果発表 (9:00 附属中学校HP)			18	木
19	金						19	金
20	土			附属中学校入学者第二次選考 (8:30 附属中学校)			20	土
21	日						21	日
22	月						22	月
23	火		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:30 教育委員会室)	川口市青少年健全育成地域の集い (15:00 市立高等学校)			23	火
24	水				学校給食食品等選定委員会 (14:00 南平学校給食センター)		24	水
25	木		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)	附属中学校第二次選考結果発表 (9:00 附属中学校HP) 第3回いじめ問題対策協議会(10:00 第二庁舎)			25	木
26	金		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:45 教育委員会室)	市長表敬訪問(慈林小学校)			26	金
27	土			中学生ART CLUB作品展(～2月4日) (10:00 アートギャラリー・アトリア)			27	土
28	日						28	日
29	月		人事評価に係る達成状況申告教育長面談 (8:30 教育委員会室)	学校訪問(木曾呂小学校、原町小学校)			29	月
30	火			第3回川口市小中連携・一貫教育推進委員会 (15:30 第一本庁舎)			30	火
31	水			委嘱研究発表(里小学校)		全日制1年次スポーツ科学コース スキー研修 (～2月2日)	31	水

## 教育長報告（４）

令和６年度埼玉県公立小中学校等校長・教頭候補者選考の結果について

### １ 選考結果の状況

※（ ）内は昨年度

	志願者数	合格者	合格 率 (%)
校長選考	35 (33) うち女性4名	8 (11) うち女性0名	22.9 (33.3)
教頭選考	18 (27) うち女性3名	16 (25) うち女性2名	88.9 (92.6)

### ２ 合格者の状況

	合格者数	小学校	中学校	市教委	男	女
校長選考	8	1	3	4	8	0
教頭選考	16	10	5	1	14	2

## 議案第118号

### 学校給食費の改定について

令和5年12月19日付川口市学校給食運営審議会から答申のあった学校給食費を次のとおり改定することについて、議決を求める。

### 記

#### 1 改定内容

##### (1) 小学校給食費

	1食の単価	年額
改定前	273円	49,140円
改定後	302円	54,360円
引上額	29円	5,220円

##### (2) 中学校給食費

	1食の単価	年額
改定前	324円	58,320円
改定後	357円	64,260円
引上額	33円	5,940円

#### 2 改定期日

令和6年4月1日

令和5年12月21日提出

川口市教育委員会教育長 井上 清之

令和5年12月19日

川口市教育委員会  
教育長 井上 清之 様

川口市学校給食運営審議会  
会長 井上 千春

学校給食費について（答申）

令和5年9月22日付け学保発第48号で諮問されたことについて、当審議会の意見は下記のとおりです。

記

当審議会は、教育委員会から諮問された学校給食費について、様々な観点から審議いたしました。

川口市は平成22年以来長らく、物価変動を考慮した学校給食費の改定を行っておらず、質・量を保持した学校給食の提供を安定的に行うことが困難な状況であったため、小学校では1食あたり35円、中学校では1食あたり45円増額する学校給食費の改定が本年4月になされました。

しかしながら、今年は昨年以上に多くの食品が値上げされ、学校給食の根幹部分である主食は約10%、牛乳は約9%の値上げがあり、献立作成や食材選定においては価格の安い食材を使用することに努めているものの、食材費の支払い状況も当初の予算を上回るペースで行っている実情があります。

献立作成、食材の選定さらには調理工程の見直しなどの努力を行ったとしても、今後も価格高騰が続く可能性があることを踏まえ、改定はやむを得ないものと判断し、令和6年度の学校給食費は、小学校は302円、中学校は357円の価格が妥当であるとの結論に至りました。

また、食材の安定購入を維持するために必要となる外国産食品に関しては、使用するにあたっては安全性の担保を確認することを求めます。

最後に、令和5年度は保護者負担額を据え置いていることから、令和6年度の改定額と合わせると大きな負担増となります。そのため、段階的な負担増とするなど、保護者負担軽減策について検討することを望みます。



## 別添 学校給食費の審議資料

### 1 審議結果について

- ・令和6年度の学校給食は、小学校は302円、中学校は357円、が妥当な価格である。
- ・食材の安定購入を維持するために必要となる外国産食品の使用にあたっては、安全性の担保を確認することが必要である。
- ・保護者に掛かる新たな負担増は大きな負担となるため、段階的な負担増など、保護者目線に立った負担の求め方が必要である。

### 2 各回の審議概要について

(1) 第1回 令和5年9月26日(火)

議題 学校給食費について

#### 【委員からの主な意見】

- ・食材選定の基準はあるのか。
- ・令和6年度も国の地方創生臨時交付金は交付される予定はあるのか。

#### 【事務局からの回答】

- ・食品等選定委員会を設け選定しており、市として遺伝子組み換え食品は使用せず、できるだけ国産食材を使用することに努めているが、外国産を使用しないと厳しい現状がある。
- ・令和6年度の交付金の予定は未定である。
- ・食品等選定委員会では、1者しか製造していない物資はできるだけ避け、競争を促すよう取り組む。

(2) 第2回 令和5年10月31日(火)

議題 令和6年度の学校給食費について

#### 【委員からの主な意見】

- ・昨今の物価高騰下での子供の食育を考えた場合、学校給食費の価格を据え置くことは難しい。市として十分にいろいろと取り組んだうえでの改定である。
- ・外国産食材の活用は、食品衛生法等に基づき、数値的な資料が示されていれば、活用していくべきではないかと考える。
- ・個々の食材の安全性がいかに担保されているのかを科学的に見極めることが大事である。
- ・令和7年度以降の学校給食費について、見通しを持っておくことが必要ではないか。
- ・公費負担は今後も続くのか。
- ・給食費の改定は、保護者にとって、急で大きな負担になることは避けなければならない。
- ・保護者の目線で考えた際、少しずつの値上げになった方が良い。

#### 【事務局からの回答】

- ・令和7年度に向けて、来年も審議していく必要がある。
- ・公費負担は、市の政策となり、現時点では未定である。経済状況や市の子育て政策等を踏まえ、総合的に判断する。

### 3 令和5年度の学校給食費について

- ・昨今の物価高騰により、現行の学校給食費では質・量を保った学校給食を提供し続けていくことが困難なため、令和5年4月に学校給食費を改定。
- ・小学校は1食273円(35円増)、中学校は324円(45円増)に改定。
- ・改定による増額分については、令和5年度は国の地方創生臨時交付金を活用して市が負担し、保護者負担額は改定前の金額で据え置き。

給食費の変遷

(単位:円)

	S50	S54	S56	H3	H10	H22	H26	R5
小学校	137	154	178	208	220	232	238	273
中学校	170	188	214	244	260	272	279	324

学校給食費内訳(牛乳、主食、副食費)額の推移

【小学校】

(単位:円)

	H22	H26	R2	R3	R4	R5
牛乳	44.74	50.2	53.21	53.13	53.49	58.38
主食	45.22	47.13	51.23	52.13	52.32	57.85
副食	142.04	140.67	133.56	132.74	132.19	156.77
合計	232	238	238	238	238	273
副食割合	61.22	59.11	56.12	55.77	55.54	57.42

【中学校】

(単位:円)

	H22	H26	R2	R3	R4	R5
牛乳	44.74	50.2	53.21	53.13	53.49	58.38
主食	62.79	65.36	70.62	71.72	71.9	78.83
副食	164.47	163.44	155.17	154.15	153.61	186.79
合計	272	279	279	279	279	324
副食割合	60.47	58.58	55.62	55.25	55.06	57.65

### 4 令和5年度の学校給食の状況について

- ・学校給食費改定による増額分(小学校35円、中学校45円)を上回る物価高騰が続いている。
- ・主食(ご飯、パン、麺)や牛乳の価格が上昇し、副食費(おかず、果物)を減額して対応。
- ・献立作成や食材選定では価格の安い食材を使用することに努めているが、食材費全般の支払い額が増加し、11月以降の献立作成単価を減額して対応。

## 5 物価高騰への対応について

### (1)物価の動向について

- ・令和5年1月から10月までに値上げされた食品数は3万1,887品目で、令和4年1年間の値上げ品目数2万5,768品目を既に超えている。
- ・値上げの機運は、年初に比べ落ち着きつつあるが、円安傾向の長期化で、輸入食材価格は高止まりし、物流費や包装資材の価格高騰が続くことが予想される。
- ・令和6年以降も、断続的に値上げが続く可能性がある。

※参考 帝国データバンク「定期調査:食品主要195社」価格改定動向調査-2023年10月

### (2)献立作成について

- ・食材価格の動向を注視し、価格高騰を見込んだ献立単価の提示を徹底する。
- ・献立作成は、予め示された献立単価内での作成を徹底する。
- ・価格高騰が著しい食材の使用を控えた献立作成に努める。

### (3)食材選定について

- ・価格の低い食材選定を基本とし、価格高騰が著しい食材の選定は控える。
- ・2者以上の業者が取扱っている食材の選定となるよう、食材の規格緩和に努める。
- ・安全性が担保されている外国産食材の活用。

## 6 令和6年度の学校給食費について

### (1)必要額について

物価の動向を踏まえ、令和6年度の学校給食費として必要な金額は、以下のとおりと算出する。

【令和6年度 小学校】 302円

【令和6年度 中学校】 357円

令和6年度の学校給食費

(単位:円)

	小学校			中学校		
	R5	R6	差額	R5	R6	差額
牛乳	58.38	60.13	1.75	58.38	60.13	1.75
主食	57.85	60.16	2.31	78.83	81.98	3.15
副食	156.77	180.89	24.12	186.79	214.86	28.07
合計	273	301.18	28.18	324	356.97	32.97
学校給食費	273	302	29	324	357	33
副食割合(%)	57.42	59.90	2.47	57.65	60.18	2.53

### (2)金額の算出方法について

- ・牛乳及び主食は、令和5年度の単価に、令和3年度から令和5年度間の対前年単価増加率の平均値(牛乳3%、主食4%)を乗じて算出。
- ・副食は、令和5年度の学校給食費を算出した令和4年8月時点の副食費(小学校167.1

8円、中学校198.58円)に、令和4年8月時点から直近(令和5年8月)の「食料」の消費者物価指数1.082を乗じて算出。

消費者物価指数(さいたま市)の推移(令和4年8月～令和5年8月)

	R4.8	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
穀類	1.000	1.037	1.032	1.023	1.052	1.064
魚介類	1.000	1.128	1.133	1.150	1.132	1.155
肉類	1.000	1.051	1.026	1.065	1.062	1.054
乳卵類	1.000	1.160	1.158	1.160	1.162	1.180
野菜・海藻	1.000	1.052	1.055	1.030	1.038	1.055
果物	1.000	0.973	1.061	1.010	1.021	1.041
食料	1.000	1.066	1.068	1.073	1.076	1.082

※総務省統計局公表の消費者物価指数(さいたま市)を基に作成

埼玉県内他市の令和5年度学校給食費の状況について (単位:円)

	小学校		中学校		現行給食費の 改定年月	
	日額	月額	日額	月額		
川口市	273	4,467	324	5,302	R5.4	
近隣市	草加市	272	4,300	324	5,100	H28.4
	さいたま市	260	4,380	317	5,130	R2.4
	蕨市	256	4,200	301	4,900	R2.4
	戸田市	244	4,000	281	4,600	H31.4
	越谷市	243	4,000	294	4,850	H27.4
その他の市	志木市	310	5,210	360	6,050	R5.4
	秩父市	290	5,400	347	6,450	H31.4
	入間市	282	4,400	336	5,100	R5.4
	朝霞市	280	4,700	315	5,300	R5.4
	熊谷市	277	4,600	334	5,500	R5.4
	飯能市	273	4,200	325	5,850	R3.4
	川越市	253	4,350	303	5,250	H27.4

※本市の令和5年度保護者負担額は、公費負担の実施により、小学校日額238円・月額3,895円、中学校日額279円・月額4,565円

(3)改定による主な効果について

- ・使用を控えている食材の活用。
- ・果物やデザート回数の増加。
- ・行事食、市産食材活用の充実。

その他（１）

第４１回川口マラソン大会の結果について

No.	種目		A	B	C	B-C	A-B
			エントリー (人数)	出走者	完走者	棄権者 (走行途中)	不参加者
1	ハーフ	高校生～39歳以下男子	426	375	358	17	51
2	ハーフ	40歳代男子	597	532	519	13	65
3	ハーフ	50歳代男子	593	546	530	16	47
4	ハーフ	60歳代男子	199	184	167	17	15
5	ハーフ	70歳以上男子	36	30	26	4	6
6	ハーフ	高校生～39歳以下女子	68	61	56	5	7
7	ハーフ	40歳代女子	70	63	60	3	7
8	ハーフ	50歳代女子	79	69	67	2	10
9	ハーフ	60歳以上女子	19	17	17	0	2
10	10km	高校生～39歳以下男子	490	436	431	5	54
11	10km	40歳代男子	377	331	331	0	46
12	10km	50歳代男子	452	384	382	2	68
13	10km	60歳代男子	214	175	175	0	39
14	10km	70歳以上男子	92	76	74	2	16
15	10km	高校生～39歳以下女子	141	123	123	0	18
16	10km	40歳代女子	136	123	123	0	13
17	10km	50歳代女子	140	125	125	0	15
18	10km	60歳以上女子	55	51	51	0	4
19	3km	中学生男子	65	54	54	0	11
20	3km	高校生～59歳以下男子	247	225	225	0	22
21	3km	60歳代男子	37	31	31	0	6
22	3km	70歳以上男子	40	34	34	0	6
23	3km	中学生女子	25	22	22	0	3
24	3km	高校生～59歳以下女子	170	144	144	0	26
25	3km	60歳以上女子	26	22	22	0	4
26	2km	小学5・6年生男子	109	101	101	0	8
27	2km	小学5・6年生女子	56	52	52	0	4
28	2km	小学3・4年生男子	136	129	129	0	7
29	2km	小学3・4年生女子	65	60	60	0	5
30	2km	ファミリー	232 (464)	207 (414)	207 (414)	0 (0)	25 (50)
合計			5,392 (5,624)	4,782 (4,989)	4,696 (4,903)	86 (86)	610 (635)

※ファミリーの部は2人一組での参加のため、( )内の数字が実人数。

前大会(第40回)	人数	エントリー	出走者	完走者	棄権者	不参加者
		4,720	4,119	4,034	85	601

※前大会では、2kmコースの実施なし。

## 第41回 川口マラソン大会 上位入賞者

ハーフ 男子高校生～39歳以下		完走者数 358		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	1366	宮崎 太陽	川口市立高校	1:08:21
2	1261	富田 洋輔	川口市立高校	1:08:47
3	1216	鈴木 祐輔	川口市陸協	1:10:49
4	1392	山口 航	千葉陸協	1:11:31
5	1393	山崎 馨	FTC	1:11:31
6	1241	田嶋 将太郎	FTC	1:12:19

ハーフ 女子高校生～39歳以下		完走者数 56		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	6018	小澤 瑠里子		1:17:53
2	6022	川崎 由理奈	RUNARX	1:19:52
3	6016	岡野 美紅		1:38:03
4	6024	木島 タエカ		1:40:10
5	6062	森本 みずき		1:40:41
6	6044	土屋 知佳		1:43:15

ハーフ 男子40歳代		完走者数 519		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	2459	藤岡 啓	MCG	1:13:19
2	2016	阿南 大輔		1:14:15
3	2116	荻原 慶也	浦安ランナーズ	1:14:53
4	2256	清水 聡	ニトリ	1:17:24
5	2037	石山 勉		1:17:43
6	2107	大家 英樹	カナガワRC	1:19:12

ハーフ 女子 40歳代		完走者数 60		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	7022	上 明子	ミニーちゃん	1:23:38
2	7023	川崎 里美		1:37:40
3	7017	沖田 友美	新井塾	1:40:31
4	7042	渡嘉敷 晶子	eA埼玉	1:41:02
5	7014	大熊 喜美		1:42:33
6	7036	高橋 いずみ	ルナークス	1:42:42

ハーフ 男子50歳代		完走者数 530		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	3388	中田 輝明	カナガワRC	1:18:32
2	3255	佐藤 努	品川ダッシュ魂	1:19:19
3	3019	阿部 功一郎	棟建	1:21:03
4	3298	鈴木 浩二		1:21:24
5	3120	小澤 弘明	まぐる軍団	1:21:37
6	3082	漆島 洋		1:21:55

ハーフ 女子50歳代		完走者数 67		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	8014	大久保 陽子		1:33:45
2	8035	近野 智子	カナガワRC	1:40:58
3	8004	秋山 晴美	ルナークス	1:41:18
4	8055	西 治子		1:41:56
5	8058	服部 麻友巳		1:43:51
6	8068	箕田 春香	カナガワRC	1:46:56

ハーフ 男子60歳代		完走者数 167		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	4107	嶋 徹	ロードスター	1:29:20
2	4181	本橋 常義	庫前屋酒店	1:29:28
3	4172	松本 良則		1:30:17
4	4059	菊地 勝巳		1:32:00
5	4048	春日 裕司		1:32:53
6	4068	金 時哲		1:33:02

ハーフ 女子60歳以上		完走者数 17		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	9018	武笠 富恵		1:45:56
2	9015	富永 美佐子	浦和駄馬O-O	1:51:22
3	9014	坪井 昌恵		1:53:36
4	9008	木村 優子		1:56:08
5	9006	海江田 なぎさ	ネギの会	2:03:07
6	9019	武藤 佳代		2:03:08

ハーフ 男子70歳以上		完走者数 26		
順位	ナンバー	氏名	所属	記録
1	5018	小金 啓志	神奈川M	1:38:09
2	5007	今井 國雄	成田ランハイ	1:39:18
3	5015	川田 光男	グランダ武蔵浦	1:44:35
4	5035	山田 幹夫	ホノルルクラブ	1:46:12
5	5029	浜戸 昇		1:51:50
6	5020	小林 清	ももだい	1:59:23

10km 男子高校生～39歳以下				完走者数	431
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	10116	菅 慎治	川口市陸協	0:32:23	
2	10438	村岡 毅紀	川口市立高校	0:32:35	
3	10274	田中 佳宏	川口市立高校	0:33:15	
4	10306	中沢 拓海	川口市立高校	0:33:23	
5	10018	飯田 拓真	DreamAC	0:33:38	
6	10084	小田 洵也	丸宮食品	0:33:44	

10km 女子高校生～39歳以下				完走者数	123
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	15087	富田 紗帆	川口市立高校	0:36:28	
2	15066	清水 愛弓	川口市立高校	0:37:10	
3	15009	池田 美咲	川口市立高校	0:37:33	
4	15141	藁谷 希理	カナガワRC	0:40:21	
5	15081	田中 杏樹		0:42:31	
6	15140	渡邊 凜	川口市立高校	0:43:17	

10km 男子40歳代				完走者数	331
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	11093	尾曲 和輝	したまちAC	0:32:28	
2	11054	大熊 啓史	戸田陸協	0:32:29	
3	11019	生玉 顕	南臺寺走友会	0:33:03	
4	11022	池田 洋		0:35:14	
5	11180	下野 豊和	カナガワRC	0:36:15	
6	11319	真中 淳也	まぐろ軍団	0:36:57	

10km 女子40歳代				完走者数	123
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	16102	原田 真穂		0:42:17	
2	16038	川口 未希子	Evo. TC	0:42:55	
3	16079	巽 恵愛		0:44:35	
4	16116	水野 裕子		0:45:22	
5	16062	志村 千友紀		0:48:29	
6	16088	中島 睦		0:48:47	

10km 男子50歳代				完走者数	382
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	12406	村上 雄彦	古谷走友会	0:35:44	
2	12202	清水 徹		0:37:05	
3	12001	相田 浩幸		0:37:47	
4	12289	戸ヶ崎 鉄郎	カナガワRC	0:38:02	
5	12226	諏訪 達也	みんぷろ。	0:38:15	
6	12257	田口 智博	埼玉陸上競技協	0:38:51	

10km 女子50歳代				完走者数	125
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	17038	金澤 恵子		0:44:35	
2	17059	杉山 裕美		0:44:42	
3	17064	高橋 正恵	ルナークス	0:45:13	
4	17029	小野 幸子		0:46:47	
5	17079	戸ヶ崎 真理	カナガワRC	0:46:53	
6	17036	加藤 寿子		0:47:17	

10km 男子60歳代				完走者数	175
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	13020	石井 彰	町田走友会	0:39:45	
2	13055	小形 英規	チーム武	0:41:52	
3	13198	山口 泰広	水戸石川走友会	0:42:21	
4	13160	深澤 昭男	恒栄電設	0:43:15	
5	13113	染谷 明人		0:43:43	
6	13192	森泉 正寿	草加走ろう会	0:44:17	

10km 女子60歳以上				完走者数	51
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	18047	三田 麻利子	カナガワRC	0:45:58	
2	18013	金子 久子	サニエスリンク	0:49:06	
3	18008	伊藤 みさえ		0:52:08	
4	18046	松岡 佳子		0:53:22	
5	18014	河合 菊美		0:53:53	
6	18018	甲村 里代		0:54:53	

10km 男子70歳以上				完走者数	74
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	14038	齊藤 敏幸	sp走友会	0:44:30	
2	14089	吉岡 義幸	箱根ヶ崎走翁	0:47:06	
3	14088	吉岡 則重	越谷マラニック	0:49:41	
4	14084	山田 久夫	まぐろ	0:50:59	
5	14012	内田 博文		0:51:00	
6	14091	渡辺 元宏		0:51:15	

3km 男子中学生		完走者数			54
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	19064	吉田 惺和	川口市立附属	0:09:23	
2	19037	時本 宝琉	戸塚西中学校	0:09:37	
3	19056	望月 光太	川口鳩ヶ谷中	0:09:48	
4	19028	清藤 優成	川口南中	0:09:50	
5	19048	堀田 駿哉	アラッシャー	0:09:51	
6	19065	渡辺 有達	神根中学校	0:10:14	

3km 女子中学生		完走者数			22
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	23014	永井 そら	戸塚西中	0:10:40	
2	23024	三井 一檜	EVOT. C	0:11:02	
3	23015	永尾 志穂	川口東	0:11:24	
4	23007	木原 来南	戸塚西中学校	0:11:24	
5	23019	沼上 芽以	さ三室中学校	0:11:29	
6	23004	金光 琉里	川口八幡木中	0:11:54	

3km 男子高校生～59歳以下		完走者数			225
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	20058	尾野 稜河	川口北高校	0:09:35	
2	20198	巻下 千洋	浦和実業高校	0:09:44	
3	20029	井向 晋太郎		0:09:45	
4	20033	上原 光太郎	DNPL駅伝部	0:09:49	
5	20141	高比良 迫人		0:09:55	
6	20168	中本 雄大	川口市陸協	0:10:11	

3km 女子高校生～59歳以下		完走者数			144
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	24016	石川 美貴子	ゼロベースRC	0:11:46	
2	24028	太田 遥	武南高校	0:11:54	
3	24030	大瀧 由佳里		0:14:13	
4	24023	内田 千夏	まぐろ軍団	0:14:24	
5	24012	飯塚 かおり		0:14:28	
6	24163	山田 未紗子		0:14:32	

3km 男子60歳代		完走者数			31
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	21030	水上 透	ミヤコスポーツ	0:11:52	
2	21010	イノウエ ミチオ	井上整形外科	0:12:14	
3	21026	平山 一則	カナガワRC	0:12:55	
4	21017	木下 功	さいたま走翔	0:12:57	
5	21007	石渡 幸之助	ドルフィン	0:12:59	
6	21006	石田 義樹		0:13:24	

3km 女子60歳以上		完走者数			22
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	25023	藤野 めぐみ	東久留米走友会	0:13:26	
2	25009	北山 令子		0:15:07	
3	25013	佐野 みゆき	太陽建築RC	0:15:46	
4	25010	國見 理恵	深谷SRC	0:16:27	
5	25001	新井 千枝子		0:16:35	
6	25024	府玻 礼子		0:16:49	

3km 男子70歳以上		完走者数			34
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	22037	森田 和男		0:13:34	
2	22035	布藤 純一郎	埼玉陸協	0:13:49	
3	22009	大瀧 光信		0:14:13	
4	22028	二宮 定則	川口さかえ	0:15:20	
5	22031	羽入 明	市川AC	0:16:25	
6	22040	綿引 昌夫		0:16:25	



2km 男子小学5・6年生				完走者数	101
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	26044	近藤 拓		0:06:47	
2	26003	秋浜 遼	里小学校	0:07:01	
3	26034	貴田 紘陽	差間小学校	0:07:04	
4	26061	鈴木 統仁	舟戸小学校	0:07:15	
5	26026	勝又 律翔	EvoT. C	0:07:23	
6	26051	坂間 蓮斗		0:07:26	

2km ファミリーの部				完走者数(エントリー)	207
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	30087	斉藤 雄基・斉藤 颯真	戸塚南小	0:08:21	
2	30026	梅谷 公哉・梅谷 大晴	ルナークスRC・青木中央小	0:08:33	
3	30046	岡野 慎一・岡野 朔久	飯仲小学校	0:08:37	
4	30143	長束 優輝・長束 壱生	木崎小学校	0:08:39	
5	30217	横川 大悟・横川 大晴		0:08:42	
6	30152	野崎 純平・野崎 凜子	並木小学校	0:08:57	

2km 女子小学5・6年生				完走者数	52
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	27053	由利 茉歩乃	バンビーニ	0:06:54	
2	27048	道脇 和	EvoT. C	0:07:08	
3	27036	田崎 志帆	川口市立元郷南	0:07:33	
4	27054	尹 俐世		0:08:03	
5	27047	松野 柚月	十二月田小学校	0:08:04	
6	27056	渡辺 美都	上青木小学校	0:08:21	

2km 男子小学3・4年生				完走者数	129
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	28040	唐川 絆汰	EvoT. C	0:07:26	
2	28003	秋浜 純	里小学校	0:07:35	
3	28011	安藤 光真	EvoT. C	0:07:36	
4	28075	高久 秀仁	根岸小学校	0:07:36	
5	28081	谷沢 幸哉	朝日東小学校	0:07:52	
6	28026	上野 彰真	EvoT. C	0:07:59	

2km 女子小学3・4年生				完走者数	60
順位	ナンバー	氏名	所属	記録	
1	29051	バイネルト 飛奈	舟戸小学校	0:07:55	
2	29043	中里 はる香	バンビーニ	0:08:27	
3	29037	千葉 咲羽音		0:08:32	
4	29047	名倉 凜	前川小学校	0:08:35	
5	29057	星野 詩彩	上青木小学校	0:08:39	
6	29063	山本 紗蘭	Evo. TC	0:08:41	

## その他（２）

### 令和５年度 川口市体育三賞選考結果について

#### 1 川口市体育賞

##### (1) スポーツ功労賞

選考結果 【川口市水泳連盟会長 埼玉県水泳連盟会長 須田 邦明】

選考理由 永年にわたり、川口市水泳連盟の運営・発展に努め、本市市民のスポーツの推進に多大な功績をあげた。

##### (2) スポーツ川口賞

###### ○ミスター川口

選考結果 柔道【澤口 宗志（日本体育大学）】  
全日本学生柔道体重別選手権大会 男子 - 81kg級 優勝

選考理由 全日本学生柔道体重別選手権 男子 - 81kg級において、優勝という輝かしい成績を残した。

###### ○ミス・ミセス川口

選考結果 バトントワーリング【瓜生 陽花（青木バトンクラブ）】  
2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会  
女子ジュニアソロ 優勝  
女子ジュニアアーティスティックトワール 2位  
2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会  
日本代表選考会  
女子ジュニアソロ 優勝  
女子ジュニアアーティスティックトワール 優勝  
第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会  
女子ソロトワールジュニアⅡ 優勝

選考理由 2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会女子ジュニアソロ優勝、女子ジュニアアーティスティックトワール2位をはじめ、上記国内大会においても優勝という輝かしい成績を残した。

##### (3) スポーツ優秀賞

###### 選考結果及び選考理由

スポーツクライミング【本間 大晴（明治安田生命）】  
IFSCクライミングワールドカップ ブリアンソン リード 2位  
IFSCクライミングワールドカップ 呉江 リード 3位

武術太極拳【大河内 天欧（私立順天高等学校）】  
第31回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会 南棍 1位  
南拳 2位  
南刀 2位

- 空手【阿部 遥佑（川口空手アカデミー）】  
第20回アジアカデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会  
ジュニア男子組手 - 76kg級 優勝
- スポーツクライミング【石田 奏（川口市立里中学校）】  
第2回ユースフューチャーカップ  
ボルタリング 1位  
リード 1位
- レスリング【古川 音羽（川口市立幸並中学校）】  
令和5年度沼尻直杯第49回全国中学生レスリング選手権大会  
男子 - 57kg級 優勝
- レスリング【中納 京介（川口市立戸塚中学校）】  
令和5年度沼尻直杯第49回全国中学生レスリング選手権大会  
男子 - 62kg級 優勝
- ボウリング【五月女 瑛太（川口市立上青木中学校）】  
文部科学大臣杯第47回全日本中学ボウリング選手権大会  
男子個人 2位
- ボウリング【齋藤 大哉（川口市立戸塚中学校）】  
文部科学大臣杯第47回全日本中学ボウリング選手権大会  
男子個人 優勝  
第22回アジアジュニアボウリング選手権大会 男子マスターズ 優勝  
男子シングルス 3位
- テニス【輿石 龍児（川口市役所）】  
地主（株）第85回全日本ベテランテニス選手権大会  
55歳ダブルス 優勝
- バドミントン【萩原 駿希（埼玉栄中学校）】  
第42回全日本ジュニアバドミントン選手権大会  
ジュニア新人の部男子シングルス 優勝
- バドミントン【高橋 元太（鳩ヶ谷ウイングス）】  
第5回日本知的障がい者バドミントン選手権大会  
男子シングルス I D 7クラス 2位
- 柔道【中山 実（川口市立西中学校）】  
第54回全国中学校柔道大会  
女子 - 40kg級 優勝

水泳【菅野 凜香（三菱養和SS）】

第45回全国JOCジュニアオリンピック春季大会

100m自由形 優勝

200m自由形 2位

第63回全国中学校水泳競技大会

200m自由形 2位

第46回全国JOCジュニアオリンピック夏季大会

100m自由形 2位

200m自由形 2位

バトントワーリング【朝倉 球生（青木バトンクラブ）】

2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会

女子ジュニアトウバトン 5位

女子ジュニアソロ 7位

2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会 日本代表選考会

女子ジュニアトウバトン 5位

女子ジュニアソロ 2位

第4回全日本バトントワーリングジュニア選手権大会

女子トウバトンジュニアⅡ 優勝

女子ソロトワールジュニアⅡ 2位

バドミントン【高橋 妃菜花（大宮中央高等学校）】

第25回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会

女子シングルス 優勝

ソフトテニス【鈴木 明美（川口クラブ）】

全日本ミックスダブルス選手権大会

ミックス60 優勝

(4) 特別賞

選考結果及び選考理由

本年度、該当者なし

## 2 第41回大野元美記念体育賞

選考結果 スケート【吉田 凧歩（川口市スケート連盟）】  
特別国民体育大会スケート競技会  
成年女子ショートトラック500m 2位

選考理由 特別国民体育大会スケート競技会、成年女子ショートトラック500mにおいて第2位という輝かしい成績を残した。

### ※ 大野元美記念体育賞の概略

川口市の体育・スポーツの振興に永年貢献された名誉市民故大野元美市長のご偉業を称え、毎年度市内の最も優秀な選手（チーム）又は市民体育の振興に貢献された方に対し「大野元美記念体育賞」を贈り、これによって市内の体育・スポーツをますます振興させ、併せて技術の向上をはかろうとするもの。

なお、大野元美記念賞顕彰会は、昭和58年1月1日に発足したものである。

## 3 第60回押田記念体育賞

選考結果 ソフトテニス【上青木中学校 男子ソフトテニス部】  
第54回全国中学校ソフトテニス大会 男子団体 2位

舘田 陸斗 金内 綾汰 木原 祐翔 江口 真叶  
奥田 向陽 吉澤 柚希 桐山 柊介 村田 優斗

選考理由 第54回全国中学校ソフトテニス大会において、男子団体2位という輝かしい成績を残した。

### ※ 押田記念体育賞の概略

川口市スポーツ界の先達として永年貢献された故押田勤先生のご偉業を称え昭和39年10月に押田記念体育顕彰会が発足。

先生が体育・スポーツに対して残された熱意とご努力を受けついで毎年度市内で最も優秀なスポーツ選手に「押田記念体育賞」を贈り、市の体育・スポーツをますます振興させ、併せて技術の向上をはかろうとするもの。

# 保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別 委員会

## の概要について

日 時 令和5年11月17日（金）  
午前10時00分  
場 所 議会第3委員会室

川 口 市 教 育 委 員 会

## 目 次

### 【報告事項】

- 1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども  
条例」に基づく施策の取り組み状況について …… P 1

### 【質疑応答概要】 …… P 3

# 1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」に基づく施策の取り組み状況について

## (1) 川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例

### ア 条例制定の背景

障害のある子どもが教育や保育を受ける上での様々な課題を解決するためには、社会が一体となり、誰一人取り残さないという考え方を共有する必要があるが、現状ではその意識が十分に醸成されているとは言い切れないところである。

また、全ての子どもが共に学び成長するためには、障害の種別や程度に応じて子ども一人一人に寄り添う社会の醸成に取り組む一方で、行政や市民それぞれの役割を明確にし、果たすべき責務を実行するための目的に特化した環境整備が必要であるため、本条例を制定したもの。

### イ 条例のポイント

(ア) インクルーシブ教育及び保育が実施できる市の実現を目指すもの。

(イ) 市は、市民の障害に関する理解促進を図ることや、医療的ケアを必要とする子どもへの支援などに取り組む。また、その施策を実施するために必要な財政上の対策を取るよう努めるもの。

(ウ) 市民は、障害に関する理解を深めるとともに、障害のある子どもやその家族に対し、それぞれの立場でできる配慮や支援に努めるもの。

(エ) 市は毎年度この条例に基づく施策に関する取組状況を議会に報告するもの。

## (2) 教育分野における取組と今後の対応

### ア 医療的ケア児への対応

#### (ア) 取組状況

令和3年9月に施行された医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律及び本条例を受け、今年度より医療的ケア児に対する看護師の配置を実施している。現在は医療的ケアが必要な児童1名（導尿）への対応として本町小学校に配置している。

#### (イ) 今後の対応

義務教育就学前の医療的ケア児について、障害福祉課等の関係機関と連携し実態把握を行う。

### イ 教職員への周知の状況

#### (ア) 取組状況

今年度から年次研修を本市独自で行なっており、初任者研修、教職経験3年目の教員向けのジャンプアップ研修、5年経験者研修、臨時的任用教員研修会で特別支援教育の合理的配慮についての研修を実施した。その中で本条例にも触れ、広く周知を行なった。加えて、当該研修では、指導主事が学校からの要請を受け学校に出向く「要請訪問」の中でも周知を図っている。また、県立特



別支援学校のセンター的機能を周知し、さらに特別支援教育コーディネーター研修会に外部講師を招聘し専門性の向上を図っている。

(イ) 今後の対応

教職員への周知や研修の更なる充実により、専門性の向上を図る。

ウ 特別支援教育支援員・補助員の増員

(ア) 取組状況

学習活動の支援や健康面の把握及び安全面の確保などを目的に、通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援を行う「特別支援教育支援員」、特別支援学級に在籍する児童生徒や発達障害・情緒障害通級指導教室に通う児童を対象に児童生徒への支援を行う「特別支援学級等補助員」について、学校の実態に合わせた配置を拡充するため、毎年増員を行い、その支援の充実を図っている。

(イ) 今後の対応

特別支援教育支援員及び特別支援学級等補助員の人材確保を進める。

# 保健医療・子ども家庭支援等福祉対策特別委員会質疑応答概要

(令和5年11月17日開催)

学校教育部 指導課

質 疑	応 答
1 「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」に基づく施策の取り組み状況について	
< 質 疑 >  なし。	< 応 答 >

○川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例

令和4年12月23日条例第54号

川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例

(目的)

**第1条** この条例は、障害のある子どもに対する、教育及び保育における差別の解消及び合理的配慮の提供に関する基本理念並びに市及び市民の役割を明らかにすることにより、社会的障壁の除去を推進し、インクルーシブ教育及び保育（障害のあるなしに関わらず、全ての子どもが共に学び成長する環境において行われる教育及び保育をいう。）が実施できる市の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

**第2条** この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 子ども 18歳未満である市民並びに18歳以上の市民であって学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部並びに専修学校の高等課程に在学する者をいう。
- (2) 障害のある子ども 身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）、難病に起因する障害等の心身の機能の障害（以下「障害」という。）があり、継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある子どもをいう。
- (3) 差別 障害を理由とした不利益な取扱いをいう。
- (4) 合理的配慮 障害のある子どもが、障害に起因する様々な課題について特別な対応を必要とする時に、教育及び保育の現場において負担が重すぎない範囲で変更及び調整をすることをいう。

(基本理念)

**第3条** 全ての子どもは、障害のあるなしに関わらず、自らの意思により自分の人生を選択し、自分らしく生きる権利を有するものであり、全ての子どもが、相互に理解を深め合い、支え合い、また学び合える環境の構築を目指し、全ての市民が障害に対する理解を深め、社会の責務として、教育及び保育における差別の解消及び合理的配慮を行い、障害のある子どもを支援していくものとする。

(市の役割)

**第4条** 市は、前条の基本理念に基づき、次に掲げる取組を行うものとする。

- (1) 市民の障害に対する理解の促進及び差別の解消に向けた取組

- (2) 教育及び保育環境における合理的配慮を提供するための基礎的環境整備の取組
- (3) 障害のある子ども及び保護者の意向を尊重するための必要な支援並びに保健、医療、福祉及び教育の関係機関相互の連携を図る取組

(市民の役割)

**第5条** 全ての市民は、障害に関する理解を深めるとともに、障害のある子どもの差別の解消に向けた前条の取組に協力するよう努めるものとする。

- 2 全ての市民は、第3条の基本理念に基づき、障害のある子ども、その家族、支援者等に対し、それぞれの立場でできる配慮及び支援に努めるものとする。

(施策の実施等)

**第6条** 市は、第4条各号の取組として、次の各号に掲げる施策を実施する。

- (1) 全ての市民への障害に関する広報、意識の啓発及び理解の促進
- (2) 障害のある子どもの進級、進学等における、継続した切れ目のない支援
- (3) 障害者差別解消支援地域協議会等の関係機関との情報の交換及び協議を通じた差別の解消
- (4) 障害のあるなしに関わらず、様々な遊び等を通じて共に過ごし、それぞれの子どもが互いに学び合う経験を持てる機会の創出
- (5) 障害のある子どもに対する医療的ケア及び必要な人員の配置に関する施策

- 2 前項各号に掲げるもののほか、市は、次の各号に掲げる事項の施策の実施に努める。

- (1) 福祉及び教育の連携等による相談支援体制の充実に関すること。
- (2) 教育及び保育における職員の確保、適切な教材等の提供、施設の整備等に関すること。
- (3) 教育及び保育に従事する職員に対する特別支援教育及び障害児保育にかかわる専門性の向上に関すること。
- (4) 障害のある子どもの家族に対する教育及び保育上の過度な負担の軽減に関すること。

(財政上の措置)

**第7条** 市は、教育及び保育における差別の解消及び合理的配慮の提供に関する施策を実施するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

(議会への報告)

**第8条** 市は、毎年度、第6条に規定する施策に関する取組状況を議会に報告するものとする。

## 附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

# 未来創造・教育力向上特別委員会

## の概要について

日 時 令和5年11月16日（木）  
午前10時00分  
場 所 議会第3委員会室

川 口 市 教 育 委 員 会

## 目 次

### 【報告事項】

1 いじめ根絶に向けた取り組み状況について	…… P	1
-----------------------	------	---

【質疑応答概要】	…… P	7
----------	------	---

# 1 いじめ根絶に向けた取り組み状況について

## (1) いじめ根絶に向けた取り組み

### ア いじめ問題対策協議会

- (ア) 日時及び場所 令和5年6月30日(金) 午前10時  
川口市役所第二庁舎 地階第1・2会議室
- (イ) 参加者 いじめ問題対策協議会委員
- (ウ) 内容
  - ・令和4年度川口市内のいじめ発生状況等について
  - ・川口市いじめ問題調査委員会人財バンクについて

### イ いじめゼロサミット

- (ア) 日時及び場所 令和5年7月14日(金) 午後2時30分 オンライン
- (イ) 参加者 市立小・中学校代表児童生徒 各1人
- (ウ) 内容 講師 市教育委員会生徒指導担当指導主事
  - ・いじめ予防授業
  - ・いじめ予防についてのグループ協議

### ウ 生徒指導担当指導主事による要請訪問(随時)

- (ア) 目的  
市教育委員会として積極的に各学校の生徒指導力の向上を図るもの。
- (イ) 実施方法  
各学校からの要請に基づき、生徒指導担当指導主事が学校を訪問し、ニーズに応じた内容で研修等を実施する。
- (ウ) 主な内容
  - ・いじめ対応について
  - ・不登校対応について
  - ・生徒指導の在り方について
  - ・自殺予防、自傷行為について
  - ・小・中学校の連携について
  - ・生徒指導提要の改訂のポイントについて

### エ 生徒指導担当指導主事による学校訪問(毎年実施)

- (ア) 目的  
生徒指導担当指導主事が市立小・中学校を訪問し、各学校における生徒指導上の諸課題を把握するとともに、その解決に向けての指導・助言を行う。
- (イ) 実施対象及び期間
  - ・市立小・中学校 80校(陽春分校含む)
  - ・令和5年7月から令和6年2月まで

(ウ) 内容

不登校の解消、非行・問題行動への対応及びいじめ問題に係る学校の対応に関する指導・助言を行う。

(2) いじめ問題に関する調査状況

今回報告する 5 事案のうち、1 事案については、いじめ問題調査委員会を設置しており、調査継続中である。

残りの 4 事案については、いじめ問題調査委員会の設置を希望しない旨の回答があり、いじめ重大事態としての対応を終結した。

【報告の概要】

事案	調査委員会等の対応状況	事案の状況
10	いじめ問題調査委員会不要	終結
11	いじめ問題調査委員会不要	終結
12	いじめ問題調査委員会不要	終結
13	いじめ問題調査委員会不要	終結
14	いじめ問題調査委員会（第 2 回）	継続中

ア 事案 10 について

(ア) 経緯

令和 5 年 4 月 21 日、A 保護者から学校に「昨日 A が家庭で死にたいと発言した」との訴えがあった。

同年 4 月 24 日、学校は A 保護者に、A への聞き取りを提案したところ、A 保護者から「死にたい」ということに触れずに行なってほしいとの要望があり、同日、A へ学校生活の悩みについて聞き取りを行なったが、明確な理由を確認することはできなかった。

同年 5 月 15 日、A 保護者から学校に「A が泣きながら学校に行きたくないと言っている」との訴えがあった。

同日放課後、A 及び A 保護者が来校し、聞き取りを行なったところ、B から「死ね」「学校に来るな」と言われたとの訴えがあり、学校はいじめを認知した。

同年 5 月 17 日、学校が B に聞き取りを行なったところ、「死ね」と発言したことを認めた。

同年 6 月 1 日、A 保護者と校長及び担任が面談をした際、A は C から「死ね」と言われたとの訴えがあった。

同年 6 月 6 日、学校が C に聞き取りを行なったところ、「死ね」と発言したことを認めた。

同年 6 月 12 日、いじめを認知してからの欠席日数が 18 日となり、相当期間の欠席をしていることから、学校は市教育委員会へ報告し、同日、市教育委員会は学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。



(イ) 調査状況

令和5年5月18日、A及びA保護者とB及びB保護者が来校し、B及びB保護者はA及びA保護者に謝罪をした。

同年6月12日、A及びA保護者とC及びC保護者が来校し、A保護者の希望によりA保護者とC保護者はそれぞれ別室で待機した上で、生徒同士で話し合いを行い、CはAに謝罪をした。

(ウ) その後の状況

令和5年7月11日まで、Aは欠席や別室登校が続いていたが、7月12日から14日、Aが登校する際に、Bが別室へ行くことでAは教室に入ることができた。

同年7月18日から20日、AとBは教室で一緒に過ごすことができた。

同年7月20日時点で、Aの欠席は28日であった。

同年7月21日、市長に重大事態の発生について報告した。

同年7月27日、28日、Aは水上自然教室にも参加することができた。

同年9月1日の始業式以降、Aは休まずに登校している。

事案発生当初、A保護者は、調査委員会の立ち上げを希望していたが、2学期以降はAが休まずに登校できていることから、同年9月20日、調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

イ 事案11について

(ア) 経緯

令和5年5月16日、A保護者から学校に、AがBから「歩くのが遅い」と言われるなど、登校班でのトラブルについて訴えがあり、学校はいじめを認知した。

同日、学校は、保護者引率のもと、Aが登校班を離れて通学することを認めた。

同年6月1日、A保護者から学校に、登校班を変えてほしいとの依頼があったが、学校は、「すぐには難しい」と回答した。

同年6月2日、A及びA保護者から学校に、登校班が変えられないのであれば転校したい旨の訴えがあった。

同年6月13日、Aが欠席したことから、学校がA保護者に電話連絡をしたところ、A保護者から「学校は行きたいが今の学校は嫌だとAが言っている」との話があった。

同年7月3日、Aが自宅でのオンライン授業に参加を始めた。

同年7月6日、A保護者及びA叔母と学校は、市教育委員会立会いのもと、面談を行なった。

同年7月11日、市教育委員会は、A及びA保護者と指定校変更に伴う教育相談を実施するとともに、学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう

指示した。

(イ) 調査状況

令和5年5月18日、学校はBから聞き取りを行い、事実を確認したことをA保護者へ説明した。

(ウ) その後の状況

令和5年7月13日、A保護者が指定校変更の手続きを行なった。

同年7月19日、学校はA保護者と面談を行い、重大事態に関する説明を行い、A保護者から調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

同年7月20日時点で、Aの欠席は28日であった。

同年8月1日、Aは転校した。

同年9月19日、市長に重大事態の発生及び調査委員会を立ち上げない形での対応を行なっていることについて報告した。

なお、Aは転校先において、2学期から登校している。

ウ 事案12について

(ア) 経緯

令和5年5月19日、学校が行なったいじめアンケートにおいて、Aは「特に困っていることはない」と回答していたが、6月21日、Aの欠席日数が30日に達した。

同年7月12日、学校がA保護者に電話連絡を行なった際、A保護者から①部活動の際、「やる気がないならやめた方がいい」と言われた、②クラスで「自分のことを、Aちゃんと言うやつキモイよね」と言っている声が聞こえた、との訴えがあった。また、Aからも聞き取りを行い、「言われた時期や相手は覚えていない」との回答があった。

同日、学校はいじめを認知し、学年の生徒に対して全体指導を行なった。

同年7月26日、A保護者から学校に電話連絡があり、上記①についてはBの発言であるとの訴えがあった。

同年8月2日、学校は、A保護者と面談を行なった。その際、上記2点のことからAは学校に行けなくなった、不登校を解消するために転校も考えている、との訴えがあった。

同年8月9日、市教育委員会は学校から本事案についての報告を受け、いじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

(イ) 調査状況

令和5年7月12日、A及びA保護者から学校に、本事案について「聞き取りやアンケートなど、調査等はしてほしい」「新たな環境で学校生活を送るために転居により転校したい」との要望があった。

(ウ) その後の状況

令和5年7月31日時点で、Aの欠席は50日であった。

同年8月25日、学校はA及びA保護者と面談を行い、重大事態に関して説明

するとともに、調査委員会の設置の意向を確認したところ、A保護者から調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

同年9月1日、Aは転校した。

同年9月19日、市長に重大事態の発生及び調査委員会を立ち上げない形での対応を行なっていることについて報告した。

同年9月30日時点で、転校先でのAの欠席は12日である。

## エ 事案13について

### (ア) 経緯

令和5年6月10日、学校公開の日に、Aから担任へ「Bに殴られた」との訴えがあり、同日学校はいじめを認知した。

同年6月15日、A保護者の希望により、A及びA保護者とB及びB保護者並びに教頭、いじめ対応教員、担任で状況説明や話し合いを行なったが、事実確認には至らなかった。

同年6月16日、A保護者から学校に「Aが学校に行きたくないと言っているので、しばらく学校には行かせない」と連絡が入った。

同年7月14日、市教育委員会は学校から本事案についての報告を受け、欠席日数が21日となり、相当期間の欠席をしていることから、学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

### (イ) 調査状況

令和5年6月10日、学校は、A及びBから聞き取りを行い、6月12日に、周囲にいた児童からも聞き取りを行なったが、事実確認には至らなかった。

### (ウ) その後の状況

令和5年6月16日から、Aは欠席しており、オンラインで授業を受けていた。

同年7月20日時点で、Aの欠席は24日であった。

同月20日、学校はA及びA保護者と面談を行い、重大事態に関する説明及び調査委員会の設置の意向について確認をしたが、返答が得られなかったため、電話や家庭訪問等で、学校から連絡を取り続けた。

同年9月1日、Aは始業式を欠席、2学期も引き続き、オンラインで授業を受けている。

同年9月19日、市長に重大事態の発生について報告した。

同年9月26日、A保護者から調査委員会の設置を希望しない旨の意向確認書が提出された。

## オ 事案14について

### (ア) 経緯

令和5年6月26日、学校は、A保護者と面談をした際、「5月頃、AはBに中指を立てられたり、4回『死ぬ』と言われてたりした」という登校班でのトラ

ブルについての訴えを聞き、いじめを認知した。

同年6月27日、上記の件で、A保護者から学校に、AがCから「Bに謝った？反省した？」と言われ、「何もやってないのに疑われていると感じ、嫌な気持ちになっている」と訴えがあった。

同年9月1日、A保護者から学校に「まだAの不安がなくなる、登校を渋ることがある」と連絡が入った。

同年9月4日、市教育委員会は学校から本事案についての報告を受け、A保護者から重大事態として調査してほしいとの要望があったこと、Aが不安を抱え、登校を渋るようになってきているという状況から、学校へいじめ重大事態として適切に対応を進めるよう指示した。

#### (イ) 調査状況

令和5年6月28日、Bや同じ登校班の児童への聞き取りを行なったが、事実確認には至らなかった。

同日、Cへの聞き取りを行なったところ、上記の発言をしたことを認めた。

#### (ウ) その後の状況

令和5年6月26日以降、学校は、グループ活動の際にAとBが同じグループにならないようにするなどの配慮をし、また、学校生活全般において、担任だけではなく複数の教員による見守りを行なった。Aは、7月20日まで登校できていたが、9月1日以降、欠席が増えている。

同年9月7日、学校はA保護者と面談を行い、重大事態に関して説明するとともに、調査委員会の設置の意向を確認したところ、A保護者から調査委員会の設置を希望する旨の意向が示された。学校は、学校の組織に第三者を加える体制での調査委員会を設置することとした。

同年9月19日、市長に重大事態の発生及び調査委員会を立ち上げる形での対応を行なっていることについて報告した。

同年9月30日時点で、Aの欠席は15日であった。

同年10月3日、第1回いじめ問題調査委員会を開催した。

同年10月24日、第2回いじめ問題調査委員会を開催した。

# 未来創造・教育力向上特別委員会質疑応答概要

(令和5年11月16日開催)

学校教育部 指導課

質 疑	応 答
1 いじめ根絶に向けた取り組み状況について	
<p>&lt; 質 疑 &gt;</p> <p>(松本 幸恵 委員)</p> <p>いじめ問題調査委員会委員の確保は以前から課題になっていたと思うが、人財バンクについて、現在の登録状況はどのようになっているのか。</p> <p>また、調査委員会を立ち上げる際、委員の選定はスムーズにできているのか。</p> <p>(松本 幸恵 委員)</p> <p>事案12、13のように、調査委員会は立ち上げないものの、状況の解決には至っていない案件について、現在や今後の対応について教えていただきたい。</p>	<p>&lt; 応 答 &gt;</p> <p>(指導課長)</p> <p>人財バンクの登録については、今のところ1団体であり、人権擁護委員会のみとなっている。</p> <p>調査委員の選定については、第三者となると学校ではなかなか見つけられないということで、市教委に相談がある。その場合、以前調査委員をされた方等に市教委からお願いをする等のサポートを行なっている。</p> <p>(指導課長)</p> <p>事案12については、転校先でも体調不良等で欠席が続き、学校に行きづらくなってしまっている。環境だけでなく登校したくてもできないという本人の問題もあるのではないかと考えている。</p> <p>事案13については、何があったか真相がつかめていないが、いじめ防止対策推進法に基づき、本人が嫌な気持ちになっていることへの支援を学校として行なった。今後、市内で転居し、転校する予定だと学校から聞いている。これが家の事情かいじめが原因であるかは不明である。</p>

質 疑	応 答
<p>(松本 幸恵 委員)</p> <p>人財バンクへの登録は、基本的には団体での登録なのか。経験された方等の個人でも登録可能なのか。</p> <p>また、事案13のように、真相がはっきりしていない事案等に対して、保護者の方から直接アクセスがないと市教委として介入できないのか。</p>	<p>(指導課長)</p> <p>人財バンクについては、個人でも登録できる。登録の意向を示している方も何名かいるので、今後、登録者を増やしていく努力を怠ってはいけないと感じている。</p> <p>2点目について、学校の対応が不適切であったことが明らかな場合、市教委が介入し、指導課長が直接対応することもある。事案13については、学校として事実確認やポストイング等適切に対応しているという判断で、介入はしていない。</p>
<p>(福田 洋子 委員)</p> <p>事案11、12は転校で終結になっている。事案11、12について、それぞれBに対してはどのような対応をしたのか。</p> <p>また、事案13について、調査委員会の設置を希望せず、転校も予定しているとのことだが、学校としては転校についてどのように考えているのか。</p> <p>事案14について、学校の組織に第三者を加える体制で調査委員会を設置するとあるが、第三者はどのような方が加わったのか。</p>	<p>(指導課長)</p> <p>事案11のBに対しては、事実確認が取れているので、指導している。</p> <p>事案12のBについては、Aを非難する意図でなく、「やる気が出ない」という発言に同調したつもりでの発言であったことを確認した。しかし、受け止め方によっては非難されたと感じてしまうこともあるということを指導した。</p> <p>事案13について、学校としては、できれば事実確認と謝罪をしっかりとうえて区切りをつけて、Aの不安を解消できるように、安心して生活できるような学級や学校としていきたいと思っているため、転校については、残念だという気持ちでいる。</p>

質 疑	応 答
<p>(福田 洋子 委員)</p> <p>生徒指導担当指導主事による要請訪問について、今年度や昨年度は何か所くらい訪問しているのか。</p> <p>(坂本 だいすけ 委員)</p> <p>いじめをしてしまう子どもの心理をどのように捉えているか。</p>	<p>事案14の第三者については、警察官経験者、民生委員、人権擁護委員の方々に入っていたいた。</p> <p>(指導課長)</p> <p>今年度は10月31日時点で、小学校で18校、中学校で5校、そのうち、小中合同での研修が4件あった。毎年同じくらいの件数で推移している。</p> <p>(指導課長)</p> <p>子ども達は、ミニ社会ともいえる学校において学力とともに集団の中の自分というものを学んでいる。その中で、エゴのぶつかり合いや自分でも認識できないようなイライラや不安、不満、妬み等のマイナスの感情を抱くことはあると感じている。いじめの原因は8分類されていて、仲間を求める、何かの欲求不満、反発・報復・仕返し、嫉妬心、支配欲、愉快感、嫌悪感、同調性といったものが子どもの心理にはある。また、健全ではないが、遊び感覚で人をからかうことで愉快的気持ちを楽しむ子どもがいるのも現実。それが、本来人間の持つ感情なのではないか。そのような実態が「いじめはいつでもどこでも起こりうる」と言われる所以だと捉えている。</p>

質 疑	応 答
<p>(坂本 だいすけ 委員)</p> <p>発達段階におけるいじめの特徴についてうかがいたい。</p>	<p>(指導課長)</p> <p>発達段階の特徴について、小中ともにクラスや部活動、仲の良いグループ等の一定の枠の中で起こる性質がある。小学校低学年では、言語表現が未発達のため、つい手が出てしまういじめが多い。中学年では、同性で気の合う小集団を形成するようになり、自分たちと異質な子、タイプの違う子を区別したり嫌悪を感じたりするようになる。男子は依然手が出てしまういじめがあり、女子は陰口や悪口等の心理的ないじめが多くなる。高学年になると、固定化された友人関係の中での親密さを争ったりグループ間での対抗になったりすることが多く、悪口や無視等の心理的ないじめが主になってくる。</p> <p>中学校は、小学校2、3校から入学してくるため、一度人間関係がシャッフルされるので、自分の立ち位置を決める際の争いが多くなる。中学校のいじめの約55%が中学1年生で起こっており、自分の優位性の誇示や仲間との結束を図るいじめも起こる。部活動内でのいじめも多く、技能が低い子をからかったり、レギュラーの子を妬んだりする特徴がある。また、なりすまし、脅し、画像送付等、SNSに関わるいじめも起こっている。</p>



質 疑	応 答
<p>(坂本 だいすけ 委員)</p> <p>いじめ防止対策を、今後どのように学校現場に指導していくか。</p>	<p>(指導課長)</p> <p>対策については、自分だけでなく他人も大切にするという思いやりをもつことを、学校生活全般にわたって指導することが大切であると考えている。そして何より、一番大事なことは校長のリーダーシップだと思っている。学校長として、「いじめは絶対許さない」、「いじめられた子は守り抜く」「いじめる側にもいじめられる側にもさせたくない」という思いを、全校集会等で一人ひとりの気持ちに訴えていく指導や話が大事になる。</p> <p>また、小学校においては、学級担任制であるため、担任が1人で抱え込まず、かならず組織として対応していくことや、子ども達が自分からSOSを発信していく力をつけさせていきたい。</p> <p>さらに、小中ともに、悪口やからかいといったいじめが一番多く、小学校で約61%、中学校で約58%となっている。市教委としては、まずここを入り口としてとらえ、悪口やからかいをなくすことが無視や暴力等の他のいじめを減らすことにもつながるのではないかと考えている。10月11日に行われたいじめ対応教員研修会で、このことについて、まずは悪口やからかいをなくしていこうと指導した。</p> <p>最後に、子ども同士の承認がない学級でいじめが起りやすいと言われているため、お互いを受</p>

質 疑	応 答
	<p>容できる暖かい学級づくりが行われるよう、市教委が一丸となって、学級経営力を向上させていきたいと考えている。</p>